

花と緑に親しんで

花と緑の銀行
 今年もはや10月中旬、5月の土づくりに始まって、5月末の花と緑のフェスタの手伝い、会場の準備、高瀬西地区のミニ花壇造りなどグリーンキーパーの皆さんと協力して参加しました。



6月の始め延寿会、女性部等の協力で花壇、プランターの花植えをしました。草取り、花殻摘み、追肥などの手入れを行いました。最初の元肥が少なかつたらしく育ちが

悪くて苦労しました。水やりはグリーンキーパー、延寿会、女性部と協力して8月末まで行いました。皆さん忙しい中、本当にありがとうございました。お蔭様で生育の遅れをとりもどして、きれいな花がたくさん咲いて、良い花壇になったと思っています。
 11月には延寿会の皆さんがチュリップとパンジーを植えられます。また近くに來られたおりに見に来てください。

マレットゴルフ大会

第16回高瀬遺跡杯・高瀬地域交流親睦マレット大会を両地域づくり協議会主催で10月2日(土)、49名の参加で開催しました。



コロナ禍での開催ということで、受付時には検温・消毒・マスク着用をお願いし、プレー中のマスク着用は任意としました。例年競技終了後は表彰式

と懇親会を行っていましたが、昨年に引き続き取りやめ優勝杯、賞状、賞品、成績表を各自宅に届けさせていただきました。
 高瀬西参加者の各賞は次の通りでした。

- ◇21年賞 安田 友明 安清
- ◇飛び賞
 - 10位 片山 良春(江田)
 - 30位 中嶋 義則(江田)
 - 35位 重倉 博志(三清西)
 - 40位 屋鋪 精一(森清)
 - 45位 斎藤 茂 (三清西)

非常階段・自転車置場塗装

高瀬西交流センター(旧高瀬公民館)は、昭和57年に建設され40年が経過しました。所々老朽化の跡が見受けられるようになりました。

南砺市では、令和3年度に31地区の交流センターの修繕計画を立て、修繕を行いました。

高瀬西地区は、外壁・非常階段・自転車置場の塗装を要望しており、外壁を除く塗装が行われました。



LED照明への切替

高瀬西地域づくり協議会は、南砺市の地域づくり交付金を活用して、一昨年から3力年かけて交流センターの蛍光灯をLED照明に切り替えました。



玄関入口には3か所の蛍光灯がありますが、入口の1か所のみを切り替えました。

協議会のホームページ開設

昨年三月より、南砺市三十一地区の地域づくり協議会ホームページが開設されています。



高瀬西地域づくり協議会へは、南砺市ホームページからも入れられます。また、QRコードからもご覧いただけます。> アドレス <
<https://takasenshi-c.7104.info/>

編集後記

コロナ禍第5波は全国的に落ち着きを見せ始め、経済活動も慎重に再開されつつあります。
 第6波が大変心配されますが、来年度は各行事が順調に行うことができますように願っています。

高瀬忠魂碑護持会 戦役者慰霊祭

令和3年8月16日



高瀬西

ふるさと広報

《第8号》

高瀬西地域づくり協議会
南砺市森清三一四八番地
高瀬西交流センター内

令和三年十月二十五日発行

ウィズコロナの活動

協議会長 中井邦夫

令和3年度がスタートして半年が過ぎました。コロナウィルス感染防止の非常事態宣言が継続して出される中、東京2020オリ・パラが無観客ながら開催され、連日アスリートたちの活躍に一喜一憂する日々でありました。

高瀬西地域づくり協議会も年間事業計画を例年通り行うこととしてきましたが、コロナ変異株感染拡大もあって、中止・縮小を余儀なくされてきました。ワクチン接種も進みようやく感染拡大も沈静化しつつありますが、「それ」とばかりに事業実施とまではいかず、若年層へのワクチン接種が進む、また第6波への備えなどを考慮し、しばらく様子見の活動とならざるを得ない状況です。

そんな中、交流センターの施設改修等が進みました。避難階段補修塗装や自転車小屋塗装のほか、館内のLED照明化、事務室机・椅子の入れ替えが進んで、より環境のよい交流センターとして生まれ変わりました。

一方、福野地域づくり連絡協議会からの要望事項を、8月27日直接市長に提出しました。

具体的には ①中部地域づくり拠点となる複合交流施設の早期実現 ②JR福野駅周辺の整備促進 ③都市計画道路「百町二日町線」通称東回りバイパスの早期整備 ④準用河川清水川の早期補修 ⑤公共交通空白地域の解消 ⑥県道福光福岡線の早期整備を市長と意見交換をしながら要望しました。いずれも、市長から前向きな意見をいただき、早期の実現に向けた市の具体的な行動を期待したいと存じます。特に、⑤公共交通空白地帯の解消は、高齢者の運転免許返納が今後進むとみられることから高瀬西・東部地域合同での要望でしたが、市長から何とか空白地帯を解消すべく実証走行などで対応しながら、令和5年度に策定する地域公共交通計画に現ルートの見直しを含め進めたいとの前向きな発言がありました。

また、市内全域の問題となっている野焼き防止対策については、市地域づくり連合会からの要望事項として、10月13日市長へ提出されました。先行して、10月の市広報によって野焼き防止を呼びかけられたほか、庭木等剪定枝処理月間を実施し野焼き防止に力を入れています。

まだまだコロナとの付き合いが長くなりそうですが、できることから活動を進めていきたいと考えています。

生涯学習部会だより

スマートフォン講習会

10月21日、総務省デジタル活用支援推進事業の「スマートフォン講習会」が交流センターで開催されました。

若い人は、皆さん上手に使いこなされていますが、高齢者には「ガラケーでいいじゃない」とスマートフォンには躊躇されている方も多いと思います。

と書いていたら、あにはからず11名の参加申し込みをいただきました。

会場では、事業委託を受けたTSTのスタッフ3名のアドバイスを受けながら、電源の入れ方からボタン操作、電話のかけ方、カメラの使い方、アプリの使い方などを体験したほか、マイナンバーカードの申請方法の説明もあり、ガラケーサービスがあと数年ともいわれる中、参加者にはデジタル仲間への第一歩となりました。



福祉推進部会だより

いっぴくサロン開催中

コロナ感染のため休止しておりましたサロンですが、コロナ警戒レベル



ステージ3から2に引き下げられたため、10月1日より活動を始めました。当日16名参加され、ゲームで楽しんでました。

毎月第一金曜日に予定しておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。



配食サービス

年間計画である高齢者招待会事業がいまだにコロナが収まらない今、行われておりません。



何かできないか。どうすればできるかを検討してきまして、給食提供ならということ

で。対象75歳以上の方(希望)に各集落福祉推進委員から、10月3日のお昼に合わせ配食させていただきました。いかがでしたか。

総務環境部会だより

今年度の活動状況

今年度の総務環境部会の活動は、地域内の環境整備の充実を図ることを目的に、いくつかの事業を実施いたしました。

一つ目は、地域住民の方々の憩いの場となっております農村公園の草刈を、地域づくり協議会(会長・副会長・センター管理者・区長会)のご協力により、6月と7月の2回実施しました。

一つ目は、同じく農村公園に植樹されていきます桜の木等の防除を4月・5月・6月の3回実施しました。事業計画では年2回を予定しておりましたが、昨年に引き続きアメリカシロヒトリ被害が発生したことから急遽追加の防除を実施しました。

三つ目としては、高瀬ふれあい体育館入口植樹帯の剪定を、6月に花と緑の銀行頭取・総務環境正・副部会長の3人により実施しました。



この剪定作業は昨年度も実施したものでありますが、花壇に植樹されているサツキやヒラドツツジの剪定に加え、昨年はアケビのツルがそれらの樹木を覆いはびこっていた根元から撤去致しましたが、今年も多くのツルが樹木に巻き付いており撤去致しました。さらに、今年も花壇も設置されて何年も経過し、樹木もかなり密植して、除草作業に支障を来してきていた為、花壇内への通路確保作業を重点的に実施しました。

空き家追跡調査

今後とも部会としては、必要に応じて地域内の様々な環境整備に、努めて行きたいと考えております。

空き家等地域対策推進員

6月27日 三清西2戸、安清2戸の空き家を当該区長・消防分団長・地域づくり協議会役員の10名で追跡調査（外観の目視巡回）を行いました。



家屋の大きな変化は見受けられないものの、庭木は確実に成長しており、多人数での訪問でなければ近寄りたくないと感じました。

空き家等地域対策推進員を拝命し研修などを通じ、空き家となる経過と背景は想像以上に多岐にわたり、空き家へと辿る経緯も賃貸期間を経て新たな家主を迎えるケースや、管理が滞り放置が進んで、永年家人が守り育ててきた住まいが朽ちていく姿は、関係者はもちろん近隣の方々も寂しく悲しい事と思えます。

先日の研修会でも、空き家の管理費用も意外と必要で、また管理責任が伴うことから、空き家状態の先延ばしや

放置せず早めの行動をと力説されておりました。

南砺市の対策の中でも市報(8月号)等で紹介の「空き家の相談会」では広範な専門家が当たられる様で、得られるアドバイスや事例はあれこれ悩む当事者にとって最も有効な最初の一步となるように思いました。

生活安全部会だより

カーブミラー清掃

交通安全協会高瀬分会
秋の交通安全運動期間中の9月26日(日)に昨



年に引き続き、地域内にあるカーブミラーの清掃を行いました。雨が降る中でしたので、一部のカーブミラーのみ実施しました。

本部装備品を紹介

10月24日(日)に防災避難訓練と避難所開設訓練を行いました。詳細については、来年1月号で案内します。

今回は、本部(防災倉庫内)の装備品について紹介します。

| 装備品 | 個数 | 装備品 | 個数 | 装備品 | 個数 |
|----------|----|--------------|----|--|-----|
| 本部テント | 1 | 手回しマルチライトラジオ | 1 | 非常用食おにぎり | 100 |
| ハンドメガホン | 2 | 照明用ランタン | 10 | 避難所における新型コロナウイルス感染症対策物資(R2.8 南砺市より納入↓) | |
| 防災本部標旗 | 2 | 反射ジャケット | 30 | | |
| 防災本部役員腕章 | 80 | 反射メッシュベスト | 25 | 折りたたみコンテナ | 1 |
| 点滅指示灯 | 4 | 防災用ヘルメット | 30 | 感染症対策マニュアル | 1 |
| 担架 | 3 | 防災毛布 | 30 | 使い捨てマスク | 200 |
| 消火栓具 | 1 | 簡易システム畳 | 36 | 手指消毒剤 | 5 |
| 安否確認台帳 | 1 | 発電機 | 1 | 薬用泡ハンドソープ | 5 |
| ブルーシート | 15 | LED ライト三脚付き | 1 | 非接触型体温計 | 1 |